

# Q 買物袋でのゴミ出しは

大方 俊治 議員

## A 現状では難しい

市長

**Q** 沖美町では4月からゴミ袋が有料になり、ゴミステーションに搬出されるゴミが、4月が20トン、5月が6トン少なくなりました。行政・各種団体の指導が浸透し、ゴミは各家庭で適正に処理されていると思われる。買

**A** 買物袋に江田島市の名を入れ、買物袋でのゴミを出す方法はどうか。  
**A** 指定のごみ袋を使用することにより、ゴミの減量化や古紙等の再生利用の促進に結び付けている。買物袋でゴミを出す方法は今の状況で

は難しい。家電品目ゴミを捨てると罰金一千万円以下の罰金を定めている。  
**Q** 島からヘリポートを設備した病院に搬送するのに、江田島市はヘリポートの建設を考えているか。

**A** 広島県や広島市の消防ヘリコプター利用は、市内10カ所運輸大臣の許可をもらい着陸可能である。江田島町宮ノ原の海上自衛隊の専用ヘリポートも利用できる。市としての専用ヘリポートは考えていない。



▲ゴミステーションに出された家庭ゴミ

# Q 全島でのバス運行を

木戸 基夫 議員

## A 路線確保に努力する

市長



▲市内路線を運行する能美バス

**Q** 江田島市バスを全市に運行できないか。そして、循環バスによる高齢者・障害者へバス利用優待券の交付計画の有無は。  
**A** 公共福祉と経済性のバランスに配慮し、

サービスの維持・向上を図る必要がある。バス運行体制の再編成は長期的な視野で効率的な生活路線を確保できるよう慎重に検討を行うが、当面、呉市交通局と能美バスの乗り継ぎや運行回数改

正により対応し、優待券は行政改革協議会、交通問題対策協議会を立ち上げ調査研究し、総合的に判断し最善の努力をします。  
**Q** スクールバスと定期バスの併合運行は大

須く切串(秋月(警部) 全市的な視野で福祉のあり方も一緒に考え、島内と陸地とリンクできる交通機関の推進に努めたい。

# Q 自己搬入の無料化は

山本 郁男 議員

## A ルール以外は分担を願う

市長

**Q** 粗大ゴミ等は、月に一度しか収集されません。従って、収集日の間違って一日遅れると一カ月近く放置されます。放置されたゴミステーション付近の住民に大変迷惑を掛けています。決めら

れたゴミの収集日にゴミステーションに搬出すれば無料ですが、決められた日でも、自分で処理場まで搬入すると手数料が掛かります。また、高齢者の方々は、決められた日に粗大ゴミのような大

きい物は、出せない方がたくさんおられます。産業ゴミは有料で良いと思いますが、家庭から出るゴミを自分で処理場まで持ち込む場合は無料化にすれば。

**A** 決められたゴミ収集ルールに従っていたら、ゴミステーションに集まった物は、行政が処分する。それ以外は、高齢者でも分担を担っていただきたい。



▲収集日に搬出された粗大ゴミ

# Q テレビ難視聴地域対策は

山根 啓志 議員

## A 中継局の増設を要望

市長



▲建設が進む中継局アンテナ (広島市：絵下山)

**Q** 2006年地上デジタル放送が開始。デジタル波は、直進性が強く、テレビ難視聴地域拡大の可能性がある。対策は。  
**A** 完全デジタル移行後、難視聴地域解消のため、中継局の増設、地域

の補助制度の創設を国に要望。完全移行前においても、対応について検討する。  
**Q** ADSL構想について、高速回線接続可能地域、接続不可能な地域と、2極地域が発生している。このことは、地

域間格差を生み、過疎化に拍車を掛ける要因になると思うが。  
**A** 江田島市地域情報センターネットワーク基盤施設整備事業を実施。地域一本化を図るためにも、情報過疎地域をつくること

は絶対に避けたい。公共通信基盤整備をすることにより、地域情報通信基盤整備につながる事業の採択に向け、国等に要望する。